

## 山内：さんない生活支えあいたいの取り組み

(令和2年3月末日現在)

### ○構成員

区長（元職含む）、民生委員、福祉協力員、元市職員、劇団代表、共助組織事務局長、食材納入組合代表、元地域づくり協議会委員、婦人会、消防団、ボランティア活動者、秋田ふるさと農業協同組合など（16名）

### ○定例会開催回数

平成28年度…1回、平成29年度…10回、平成30年度…8回、令和元年度…9回

### ○生活支援協議体(協議体)の取り組み

買い物や通院などの移動手段に不便を感じているとの声や、既存の移動サービスの利用方法がわからないとの声も多いことから、情報をわかりやすく地域へ届けようと、地域の交流会などへ構成員が訪問しながら情報提供を行っている。また、移動手段が少ないために交流活動に参加できないとの声も多いため、バスを保有する地域の温泉施設へ送迎を含めた交流の場づくりを働きかけた結果、新たに「山内つどいの場」を実施していただけることとなり、チラシなどを配布しながら参加者の募集を行っている。

#### 《主な取り組み》

##### ①移動支援に関する視察研修

移動手段が少なく不便を感じている住民が多いことから、住民主体の移動支援により課題解決を図っている取り組みを学ぼうと、増田町狙半内地区を視察し、移動支援を始めたきっかけやどのように地域へ働きかけて実現したのかを教えていただいた。



～視察研修の様子～

##### ②つどいの場づくりの検討

移動手段が少ないために住民同士の交流機会が以前より少なくなっていることから、バスを保有する温泉施設へつどいの場づくりを働きかけたことにより、送迎を含めた新たなつどいの場の誕生につながった。



～温泉施設とつどいの場の打合せ～